

第4次 佐渡市地域福祉計画 佐渡市地域福祉活動計画評価票

(令和6年度)

佐渡市・佐渡市社会福祉協議会

**第4次 佐渡市地域福祉計画・佐渡市地域福祉活動計画
進行管理・評価 対象事業一覧**

【令和6年度】

…重点事項、子育てに関する事項【2つの成果指標により評価する。】

No.	基本方針	活動方針	主な取組内容	事業名	事業実施主体	新規/継続 (継続の場合は対象事業一覧のNo.)
1	基本方針1 つながり、支え合うまちづくり	(1) 支え合い意識の高揚と活動への支援 (2) 地域で活躍する人材育成・ボランティア活動支援 (3) 子育てにやさしい地域づくり	①福祉教育の充実	・小中学校等での「認知症サポーター養成講座」の実施	高齢福祉課	No.1
2				・福祉教育事業出前塾の実施	社会福祉協議会	No.2
3			②支え合い意識の高揚と参加の促進	・地域支え合い活動の実施(生活支援コーディネーターの活動)	高齢福祉課	No.6
4				・地域福祉懇談会の実施	社会福祉協議会	No.7
5			①人材・リーダーの発掘と育成	・民生委員児童委員活動事業	社会福祉課	No.13
6			②ボランティア活動の支援と連携強化	・人材発掘・育成のためのボランティア講座の実施	社会福祉協議会	No.14
7			①子育てサービスの充実	・ファミリーサポートセンターの運営	子ども若者課	No.9
8				・親子ふれあい教室の実施	社会教育課	No.10
9			②子育ての相談支援体制の充実	・地域子育て支援センター事業	子ども若者課	No.18
10				・ことば・こころの教室運営事業	学校教育課	No.28
11	基本方針2 健やかな暮らしを支えるまちづくり	(1) 地域での見守り・声かけ体制づくり (2) 相談支援、情報提供体制の充実 (3) 健康・生きがいづくりの推進	①見守り・声かけ活動の推進	・見守り活動の支援	社会福祉協議会	No.17
12			②誰もが集まる居場所づくりの推進	・地域の居場所づくり事業の推進	社会福祉協議会	No.19
13			①重層的・包括的相談支援体制の充実	・総合福祉相談支援センターの機能強化	総合福祉相談支援センター	新規
14				・福祉相談員の配置	社会福祉協議会	No.30
15			②生活困窮者自立支援事業の推進	・生活困窮者自立支援事業	社会福祉課/社会福祉協議会	No.31
16			③医療・介護・福祉の提供体制の確保、充実	・医療・介護・福祉の連携体制の強化	高齢福祉課	新規
17				・医療・介護・福祉の人材育成及び確保	高齢福祉課/健康医療対策課/社会福祉課/子ども若者課	新規
18			①健康づくりと介護予防の推進	・保健事業と介護予防事業の一体的実施	市民課/健康医療対策課/高齢福祉課	新規
19			②生きがいづくりと交流の促進	・高齢者学級の推進	社会教育課	新規
20	基本方針3 安全安心で住みやすいまちづくり	(1) 地域の防災・防犯体制づくり	①防災意識の醸成と災害時の連携強化	地区防災計画作成支援事業	防災課	新規
21			②安心して暮らせる地域活動の促進	・災害ボランティア講座の開催	社会福祉協議会	No.41
22		(2) むらしやすい生活環境づくり	①暮らしやすい基盤整備の充実	・交通対策事業	交通政策課	No.33
23			②生活交通の確保と生活支援の充実	・生活支援体制整備事業	高齢福祉課	No.23
24		(3) 権利を守る環境づくり・成年後見制度の推進	①権利擁護の推進	・日常生活自立支援事業の推進	社会福祉協議会	新規
25				・地域包括支援センターの運営	高齢福祉課	No.29
26			②成年後見制度の利用促進と支援体制の確保	・市民後見推進事業	社会福祉課/社会福祉協議会	No.25
27				・成年後見センターの機能充実	社会福祉課/社会福祉協議会	No.26

第4次 佐渡市地域福祉計画 佐渡市地域福祉活動計画 進行管理・評価シート(実施主体用) 【令和6年度】

No. 1

基本方針	1 つながり、支え合うまちづくり		
活動方針	(1) 支え合い意識の高揚と活動への支援		
主な取組	①福祉教育の充実		
事業名	小中学校等での「認知症サポーター養成講座」の実施		
担当(課・係)	高齢福祉課	新規or継続	継続

— 計画・実行 —

事業概要(取組内容)

認知症サポーターとは、認知症について正しく理解し、偏見を持たず、認知症の人や家族に対して温かい目で見守ることができる応援者である。認知症は誰でもなる可能性のある病気であり、他人ごととして無関心でいるのではなく、「自分の問題」、「家族の問題」として捉え、身近な問題であるという意識をもつことが大切である。市内の高齢化率が40%を超える地域で暮らす様々な年代で理解し、支え見守っていくことが重要であり、子どもたちにも地域で支える担い手として講座受講を推進する。

認知症の人への対応の仕方、声のかけ方などを知ること、実践していくことで、思いやりの心を育む。

目指す成果(方向性)

身近な脳の病気である認知症について知っていることが増え、対応の仕方や声のかけ方がわかる。誰に対してもやさしく、誰もが暮らしやすい地域にするために、子どもたちに福祉について考える機会にしてもらう。

成果を計る主な指標	認知症サポーター養成講座の開催		
計画策定時の現状		計画策定時の目標	
令和5年度の実績		令和8年度(中間)	令和10年度(最終)
○ 講座実施校数: ・ 小学校2校、高等学校1校	○ 講座実施校数: ・ 小学校6校、中学校3校、高等学校3校	○ 講座実施校数: ・ 小学校10校、中学校6校、高等学校6校	○ 講座実施校数: ・ 小学校10校、中学校6校、高等学校6校
○ 受講者数:40人	○ 受講者数:150人	○ 受講者数:250人	○ 受講者数:250人
○ 受講者延数:749人	○ 受講者延数:900人	○ 受講者延数:1,000人	○ 受講者延数:1,000人

令和6年度の実績

第4次 佐渡市地域福祉計画 佐渡市地域福祉活動計画 進行管理・評価シート(実施主体用) 【令和6年度】

No. 2

基本方針	1 つながり、支え合うまちづくり		
活動方針	(1) 支え合い意識の高揚と活動への支援		
主な取組	①福祉教育の充実		
事業名	福祉教育事業出前塾の実施		
担当(課・係)	社会福祉協議会	新規or継続	継続

— 計画・実行 —

事業概要(取組内容)

・ふくボラ出前塾

市内の小、中学校や高等学校、企業、事業所、また集落等を対象に社会福祉関係者、地域住民の協働によるふくボラ出前塾を実施します。

(プログラム実施分野：高齢、障がい、介護、ボランティア、地域福祉事業、成年後見制度等)

・ボランティア体験事業

社会福祉協議会で実施しているボランティア活動の体験を行い、子どもたちが地域の施設や地域福祉事業に関心をもち、ボランティア活動や福祉について正しい理解や福祉の心を育むよう実施します。

目指す成果(方向性)

社会福祉関係者、地域住民の協働によるプログラムを通じて、福祉やボランティアを知り、ひとりひとりの福祉のこころを育みます。高齢や障がいの理解を深めることで相手の立場を考え、ふれあいや優しさを感じお互いに助け合うことができる思いやりのある地域共生社会の実現を目指します。

成果を計る主な指標 ふくボラ出前塾の実施回数等

計画策定時の現状

計画策定時の目標

令和5年度の実績

令和8年度(中間)

令和10年度(最終)

ふくボラ出前塾

実施会場 26会場
実施回数 52回
参加者数 1,050名(延数)
ボランティア体験事業
参加者数 74名(延数)

ふくボラ出前塾

実施会場 35会場
実施回数 65回
参加者数 1,300名(延数)
ボランティア体験事業
参加者数 75名(延数)

ふくボラ出前塾

実施会場 40会場
実施回数 70回
参加者数 1,400名(延数)
ボランティア体験事業
参加者数 70名(延数)

令和6年度の実績

第4次 佐渡市地域福祉計画 佐渡市地域福祉活動計画 進行管理・評価シート(実施主体用) 【令和6年度】

No. 3

基本方針	1 つながり、支え合うまちづくり		
活動方針	(1) 支え合い意識の高揚と活動への支援		
主な取組	(2) 支え合い意識の高揚と参加の促進		
事業名	地域支え合い活動の実施(生活支援コーディネーターの活動)		
担当(課・係)	高齢福祉課	新規or継続	継続

— 計画・実行 —

事業概要(取組内容)

単身や高齢者のみ世帯、認知症の高齢者が増加する中、多様な日常生活上の支援体制の充実・強化及び高齢者の社会参加の促進を目的に、「生活支援コーディネーター(地域支え合い推進員)」の配置と協議体の設置を行った。

平成28年度から第1層生活支援コーディネーターを配置し、平成29年度から第2層生活支援コーディネーターの配置を進め、地域のニーズ把握に努めている。また、市民や事業所を対象にフォーラムや勉強会を開催し、地域の支え合いについて、普及啓発をしている。

地域のサロンや茶の間、老人クラブ等の集まり等で、生活支援コーディネーターの役割や支え合いの講話等を行い、地域にあるつながり(宝物)を発掘し支え合い意識の醸成を図っている。

目指す成果(方向性)

今ある活動やつながり、地域資源を見る化し、支え合い助け合いの意識醸成を図る。ニーズや課題に対して、支え合い助け合える地域づくりと生活支援等の担い手の育成をする。

成果を計る主な指標	ニーズ把握による課題の抽出及び普及啓発活動、担い手の育成
-----------	------------------------------

計画策定時の現状

計画策定時の目標

令和5年度の実績

令和8年度(中間)

令和10年度(最終)

- ・コーディネーターの配置:8人
- ・協議体の設置 5
- ・地域づくりフォーラム・講演会等:3回
- ・出前講座等:37回
- ・担い手養成講座:1回

- ・コーディネーターの配置 9人
- ・協議体の設置 5
- ・地域づくりフォーラム・講演会等 9回
- ・出前講座等 120回
- ・担い手養成講座 12回

- ・コーディネーターの配置 9人
- ・協議体の設置 5
- ・地域づくりフォーラム・講演会等 15回
- ・出前講座等 200回
- ・担い手養成講座 20回

令和6年度の実績

第4次 佐渡市地域福祉計画 佐渡市地域福祉活動計画 進行管理・評価シート(実施主体用) 【令和6年度】

No. 4

基本方針	1 つながり、支え合うまちづくり		
活動方針	(1) 支え合い意識の高揚と活動への支援		
主な取組	(2) 支え合い意識の高揚と参加の促進		
事業名	地域福祉懇談会の実施		
担当(課・係)	社会福祉協議会	新規or継続	継続

— 計画・実行 —

事業概要(取組内容)

地域の福祉課題の解決に向けて、住民と共に話し合い、取り組めるよう、地域福祉懇談会を実施します。地域の困りごとに対応できるサービスの紹介を行うとともに、地域で解決が出来るよう体制の構築に向けて支援します。

また、支え合いマップの作成し地域でのコミュニティの再構築を図るとともに、災害時の行動についても検討を行い、災害時に協力し合える地域づくりを支援します。

目指す成果(方向性)

地域共生社会の実現に向けて、地域における福祉課題の解決につなげる、住民参画による取組みを考える機会とします。

成果を計る主な指標

地域福祉懇談会、支え合いマップづくりの実施状況

計画策定時の現状

計画策定時の目標

令和5年度の実績

令和8年度(中間)

令和10年度(最終)

実施回数 31回

延参加者数 356名

実施回数 35回

延参加者数 400名

実施回数 40回

延参加者数 430名

令和6年度の実績

第4次 佐渡市地域福祉計画 佐渡市地域福祉活動計画 進行管理・評価シート(実施主体用) 【令和6年度】

No. 5

基本方針	1 つながり、支え合うまちづくり		
活動方針	(2) 地域で活躍する人材育成・ボランティア活動支援		
主な取組	①人材・リーダーの発掘と育成		
事業名	民生委員児童委員活動事業		
担当(課・係)	社会福祉課	新規or継続	継続

— 計画・実行 —

事業概要(取組内容)

民生委員・児童委員、主任児童委員の充足を図り、佐渡市民生委員児童委員協議会において、研修会等を実施し、知識・情報を得られる機会を提供する。

目指す成果(方向性)

民生委員・児童委員が活動を円滑に取組めるよう、研修会等を実施し民生委員・児童委員の業務に関する知識を高める。

成果を計る主な指標

委員の充足、研修会等の参加率、研修に対する評価

計画策定時の現状

計画策定時の目標

令和5年度の実績

令和8年度(中間)

令和10年度(最終)

- 委員の充足率97.2%(4月1日現在)
- 研修会等の参加率
 - ①総会・研修会(73.4%)
 - ②佐渡市民生委員児童委員研修会(74.6%)
 - ③児童福祉部会(76.0%)
 - ④地域福祉部会(75.0%)
- 研修に対する評価(アンケート未実施)

- 委員の充足率
98.0%(4月1日現在)
- 研修会等の参加率
78.0%以上
- 研修に対する評価
大変参考になった、参考になった
と答えた委員の割合75.0%以上

- 委員の充足率
100.0%(4月1日現在)
- 研修会等の参加率
80.0%以上
- 研修に対する評価
大変参考になった、参考になった
と答えた委員の割合80.0%以上

令和6年度の実績

第4次 佐渡市地域福祉計画 佐渡市地域福祉活動計画 進行管理・評価シート(実施主体用) 【令和6年度】

No. 6

基本方針	1 つながり、支え合うまちづくり		
活動方針	(2) 地域で活躍する人材育成・ボランティア活動支援		
主な取組	②ボランティア活動の支援と連携強化		
事業名	人材発掘・育成のためのボランティア講座の実施		
担当(課・係)	社会福祉協議会	新規or継続	継続

— 計画・実行 —

事業概要(取組内容)

研修会や交流会を実施し、ボランティアのモチベーションの向上を図り、活動の継続に向けて支援を行います。

ボランティア養成講座を開催し、新たなボランティアの育成と発掘を行います。

目指す成果(方向性)

福祉活動を支えるボランティ活動の継続のため、活動中のボランティアのモチベーションの向上を図るとともに、多様な層の方々に働きかけ新たな人材を育成するとともに、リーダーの担い手となる方を発掘し地域福祉活動の推進に繋げます。

成果を計る主な指標	講座や研修会等の実施		
計画策定時の現状		計画策定時の目標	
令和5年度の実績	令和8年度(中間)		令和10年度(最終)
ボランティア活動支援講座 開催回数 5回 延参加者 93名	ボランティア活動支援講座 開催回数 5回 延参加者 100名	ボランティア活動支援講座 開催回数 5回 延参加者 100名	ボランティア活動支援講座 開催回数 5回 延参加者 100名
ボランティアの育成講座 開催回数 3回 延参加者 66名	ボランティアの育成講座 開催回数 3回 延参加者 60名	ボランティアの育成講座 開催回数 3回 延参加者 60名	ボランティアの育成講座 開催回数 3回 延参加者 60名

令和6年度の実績

第4次 佐渡市地域福祉計画 佐渡市地域福祉活動計画 進行管理・評価シート(実施主体用) 【令和6年度】

No. 7

基本方針	1 つながり、支え合うまちづくり		
活動方針	(3) 子育てにやさしい地域づくり		
主な取組	①子育てサービスの充実		
事業名	ファミリーサポートセンターの運営		
担当(課・係)	子ども若者課	新規or継続	継続

— 計画・実行 —

事業概要(取組内容)

ファミリー・サポート・センターは、地域全体で子どもを見守り、働く子育て世帯を支えることを目的として、市町村が主体となり運営を行う。子育てをお手伝いしてほしい方(依頼会員)と子育てをお手伝いしたい方(提供会員)が会員登録し、お互いに助け合う会員制の組織である。

サービス対象者は、0歳からおおむね12歳までの子どもの保護者。

サービス内容は、子どもの預かりと送迎を実施している。

目指す成果(方向性)

利用者のニーズを把握しながら、サービス内容の改善、増加など事業拡大に取り組む。

現況調査と台帳の整理で一旦会員数が減少するが、継続的に新規会員を獲得して会員数の増加を目指す。

成果を計る主な指標	会員数、サービス利用件数
-----------	--------------

計画策定時の現状

計画策定時の目標

令和5年度の実績

令和8年度(中間)

令和10年度(最終)

会員数 196人 サービス利用件数 330件	会員数 170人 サービス利用件数 260件	会員数 210人 サービス利用件数 260件
---------------------------	---------------------------	---------------------------

令和6年度の実績

**第4次 佐渡市地域福祉計画 佐渡市地域福祉活動計画
進行管理・評価シート(実施主体用) 【令和6年度】**

No. 8

基本方針	1 つながり、支え合うまちづくり		
活動方針	(3) 子育てにやさしい地域づくり		
主な取組	①子育てサービスの充実		
事業名	親子ふれあい教室の実施		
担当(課・係)	社会教育課	新規or継続	継続

— 計画・実行 —

事業概要(取組内容)

子育てを通して楽しく学び、交流を深めてもらう情報交換の場を提供するため、子育ち・親育ち学級を開催する。

目指す成果(方向性)

親子・子育て世代の不安や悩みを共有し、解消できる仕組みづくりを目指す。

成果を計る主な指標 子育ち、親育ち学級の開催

計画策定時の現状

令和5年度の実績

受講者(延べ人数):180人

計画策定時の目標

令和8年度(中間)

令和10年度(最終)

受講者(延べ人数):180人

受講者(延べ人数):180人

令和6年度の実績

第4次 佐渡市地域福祉計画 佐渡市地域福祉活動計画 進行管理・評価シート(実施主体用) 【令和6年度】

No. 9

基本方針	1 つながり、支え合うまちづくり		
活動方針	(3) 子育てにやさしい地域づくり		
主な取組	②子育ての相談支援体制の充実		
事業名	地域子育て支援センター事業		
担当(課・係)	子ども若者課	新規or継続	継続

— 計画・実行 —

事業概要(取組内容)

未就園児の保護者相互の情報交換や、地域全体で子育てを支援する基盤形成の支援を行う。また、子育て家庭等に対する育児不安等についての相談指導を行い、保護者のストレス軽減を図るとともにこどもの心身の発達を促す。

目指す成果(方向性)

日ごろから利用している保護者はもちろん、支援センターを利用していない保護者が利用しやすい環境づくりや、PRを行い、子育て世帯の支援を推進する。

成果を計る主な指標	利用者数		
	計画策定時の現状	計画策定時の目標	
令和5年度の実績	令和8年度(中間)	令和10年度(最終)	
年間延べ利用人数 13,459人	年間延べ利用人数 14,000人	年間延べ利用人数 14,000人	
令和6年度の実績			

**第4次 佐渡市地域福祉計画 佐渡市地域福祉活動計画
進行管理・評価シート(実施主体用) 【令和6年度】**

No. 10

基本方針	1 つながり、支え合うまちづくり		
活動方針	(3) 子育てにやさしい地域づくり		
主な取組	②子育ての相談支援体制の充実		
事業名	ことば・こころの教室運営事業		
担当(課・係)	学校教育課	新規or継続	継続

— 計画・実行 —

事業概要(取組内容)

指導・相談(通常指導・巡回指導・訪問指導、夏季相談会・言語検査等)

研修(大学・施設、研究会、先進校での研修等)

理解・啓発活動(学習会・通級説明会等の実施、教室だよりの発行等)

目指す成果(方向性)

対象幼児・児童・生徒及び保護者にとって指導・相談の場であるとともに、心のよりどころとなる。

成果を計る主な指標

学習会や親の会の開催、教室だよりの発行

計画策定時の現状

計画策定時の目標

令和5年度の実績

令和8年度(中間)

令和10年度(最終)

- ・学習会:2回実施
- ・親の会:7回実施
- ・教室だより:6回発行

- ・学習会:2回実施
- ・親の会:7回実施
- ・教室だより:6回発行

- ・学習会:2回実施
- ・親の会:7回実施
- ・教室だより:6回発行

令和6年度の実績

第4次 佐渡市地域福祉計画 佐渡市地域福祉活動計画 進行管理・評価シート(実施主体用) 【令和6年度】

No. 11

基本方針	2 健やかな暮らしを支えるまちづくり		
活動方針	(1) 地域での見守り・声かけ体制づくり		
主な取組	①見守り・声かけ活動の推進		
事業名	見守り活動の支援		
担当(課・係)	社会福祉協議会	新規or継続	継続

— 計画・実行 —

事業概要(取組内容)

高齢者等の見守り活動として、次の事業を実施します。

①住民による見守り活動支援

社会的孤立を未然に防ぐことを目的に、地域住民による、一人暮らし高齢者等要支援者への声かけ、電気・洗濯物・カーテンなどの外観からの見守り活動の実施及び継続への支援を行います。

見守り対象者：高齢者や障がい者等見守りが必要と思われる方

②おはようコール

安否確認を電話で行い、健康状態の把握や孤独感の解消を図ります。

対象者：75歳以上一人暮らし高齢者、日中独居高齢者や障がい者等

③配食サービス

調理が困難な方等に安否確認と併せて、お弁当を配達します。届ける際に、安否確認を行います。

対象者：65歳以上のひとり暮らしの高齢者、高齢者のみの世帯に属する者、障がい者と同居している高齢者又は身体障がい者で自分で食事を準備することが困難な方

目指す成果(方向性)

①地域住民による外観からの見守り活動や定期的な訪問、対象者の不安や孤独感の解消を図ると共に、地域住民の見守り意識の向上を図ります。

②ボランティアの温かい声による電話での安否確認を行い、対象者が安心して暮らせるよう支援します。

③対象者の見守りや安否確認を行うとともに、配食サービスを提供し、食の確保を行い、住み馴れた地域において生活が送れるよう支援します。

成果を計る主な指標

利用者数等の増減

計画策定時の現状

計画策定時の目標

令和5年度の実績

令和8年度(中間)

令和10年度(最終)

①見守り活動取組地区 193地区

見守り対象者 1,089名

見守り協力者 434名

②事業利用者 106名

③配食サービス利用者 359名

延べ配食数 32,617食

①見守り活動取組地区 200地区

見守り対象者 1,130名

見守り協力者 450名

②事業利用者 110名

③配食サービス利用者 340名

延べ配食数 31,000食

①見守り活動取組地区 210地区

見守り対象者 1,200名

見守り協力者 470名

②事業利用者 110名

③配食サービス利用者 340名

延べ配食数 31,000食

令和6年度の実績

第4次 佐渡市地域福祉計画 佐渡市地域福祉活動計画 進行管理・評価シート(実施主体用) 【令和6年度】

No. 12

基本方針	2 健やかな暮らしを支えるまちづくり		
活動方針	(1) 地域での見守り・声かけ体制づくり		
主な取組	(2)誰もが集える居場所づくりの推進		
事業名	地域の居場所づくり事業の推進		
担当(課・係)	社会福祉協議会	新規or継続	継続

— 計画・実行 —

事業概要(取組内容)

サロン交流会の開催、プログラムの提案、レクリエーション用具貸出等を行いながら既存活動団体の活動の継続、活性化を図るよう支援を行います。また、未実施、休止中の地区に実施に向けての働きかけを行います。

子ども食堂や地域食堂、趣味の集まり等、新たな形の居場所づくりを支援し地域交流を拡充します。

また、常設の居場所については、利用者同士の新たなつながりと助け合いの創出を図り、地域共生社会の実現を図ります。

目指す成果(方向性)

地域住民同士のつながりを深め、生きがい、健康づくり及び社会参加を図り、併せて日中孤立しがちな高齢者等の閉じこもりを予防することを目指し住民主体の企画・運営による地域の居場所づくりを推進します。

成果を計る主な指標	地域の居場所づくりの実施箇所や参加者数
-----------	---------------------

計画策定時の現状

計画策定時の目標

令和5年度の実績

令和8年度(中間)

令和10年度(最終)

○実施 116箇所、
開催回数 1,100回
参加者延数 11,030名
○サロン交流会、研修会
開催回数 5回
延参加者数 78名

○実施 120箇所、
開催回数 1,300回
参加者延数 13,000名
○サロン交流会、研修会
開催回数 5回
延参加者数 80名

○実施 120箇所、
開催回数 1,300回
参加者延数 13,000名
○サロン交流会、研修会
開催回数 5回
延参加者数 80名

令和6年度の実績

第4次 佐渡市地域福祉計画 佐渡市地域福祉活動計画 進行管理・評価シート(実施主体用) 【令和6年度】

No. 13

基本方針	2 健やかな暮らしを支えるまちづくり		
活動方針	(2) 相談支援、情報提供体制の充実		
主な取組	①重層的・包括的相談支援体制の充実		
事業名	総合福祉相談支援センターの機能強化		
担当(課・係)	総合福祉相談支援センター	新規or継続	新規

— 計画・実行 —

事業概要(取組内容)

令和4年4月に福祉の総合窓口として社会福祉課内に総合福祉相談支援センターが設置された。

福祉に関するさまざまな課題を抱えた方等の相談を受け止め、相談内容に応じた必要な支援のコーディネートを行うほか、単独の支援機関では対応が難しい複雑化・複合化した生活課題の解決のため、複数の相談支援機関と連携し支援体制づくりを進める。

【主な業務】

・総合福祉相談窓口

分野に関わらず包括的に福祉に関する相談を受け、内容に応じて必要な情報の提供や適切な支援機関へ案内するなどの解決に向けた支援を行う。

・地域包括支援センターとの連携、後方支援

地域包括支援センターと連携し、研修会の実施、援助困難ケースへの助言等支援、高齢者の権利擁護に取り組んでいる。

・障がい者基幹相談支援センター業務

障害者の地域における総合的な相談窓口として、障がいの種別や各種ニーズに対応する相談支援を行うほか、市内の相談支援事業所と連携し、地域の相談支援体制の強化、権利擁護に取り組んでいる。

目指す成果(方向性)

すべての人が気軽に相談でき必要な支援情報やサービスを得ることができる相談窓口を設けるとともに、関係機関との連携を強化し、重層的・包括的な相談支援体制を構築する。

成果を計る主な指標	相談支援を利用した人数	
計画策定時の現状	計画策定時の目標	
令和5年度の実績	令和8年度(中間)	令和10年度(最終)
実人数 312人口	実人数 330人	実人数 330人
令和6年度の実績		

第4次 佐渡市地域福祉計画 佐渡市地域福祉活動計画 進行管理・評価シート(実施主体用) 【令和6年度】

No. 14

基本方針	2 健やかな暮らしを支えるまちづくり		
活動方針	(2) 相談支援、情報提供体制の充実		
主な取組	①重層的・包括的相談支援体制の充実		
事業名	福祉相談員の配置		
担当(課・係)	社会福祉協議会	新規or継続	継続

— 計画・実行 —

事業概要(取組内容)

コミュニティソーシャルワーカーを配置しアウトリーチ活動の強化を図り、制度の狭間や複数の福祉課題を抱えるなど既存の福祉サービスだけでは対応困難な事案や発見に取り組みます。また、地域住民からの情報提供が大きな力となるため、相談窓口の周知、相談しやすい雰囲気づくりに努めます。

課題の発見や解決に向けて、関係機関が連携して取り組めるようネットワークの構築を図ります。

目指す成果(方向性)

地域共生社会の実現にむけて、アウトリーチ活動を強化するとともに、地域福祉懇談会等事業と連携を行い、地域課題やニーズの把握に努め、解決にむけた取り組みが実施されるよう働きかけを行います。

成果を計る主な指標

福祉相談員の活動実績

計画策定時の現状

計画策定時の目標

令和5年度の実績

令和8年度(中間)

令和10年度(最終)

福祉相談員の配置

福祉相談員の配置

福祉相談員の配置

職員の配置 5名

職員の配置 5名

職員の配置 5名

活動回数 1,028回

活動回数 1,100回

活動回数 1,100回

相談受付総件数 1,952件

相談受付総件数 2,200件

相談受付総件数 2,200件

令和6年度の実績

第4次 佐渡市地域福祉計画 佐渡市地域福祉活動計画 進行管理・評価シート(実施主体用) 【令和6年度】

No. 15

基本方針	2 健やかな暮らしを支えるまちづくり		
活動方針	(2) 相談支援、情報提供体制の充実		
主な取組	②生活困窮者自立支援事業の推進		
事業名	生活困窮者自立支援事業		
担当(課・係)	社会福祉課/社会福祉協議会	新規or継続	継続

— 計画・実行 —

事業概要(取組内容)

生活保護に至る前の段階にある生活困窮者に対する自立支援策を強化するため、平成27年4月に生活困窮者自立支援法が施行され、生活困窮者に対し、その就労の状況、心身の状況、地域社会からの孤立の状況など様々な状況又はそれらの複合的な状況に応じて、包括的かつ早急的な支援を提供している。

<社会福祉協議会へ委託している事業>

- ・自立相談支援事業…就労その他の自立に関する相談支援、事業利用のためのプラン作成等を行う
- ・就労準備支援事業…就労に必要な訓練を日常生活自立、社会生活自立段階から有期で実施する
- ・家計改善支援事業…家計に関する相談、家計管理に関する指導、貸付のあっせん等を行う

<直営で実施している事業>

- ・住居確保給付金…離職により住居を失った生活困窮者等に対し家賃相当の給付金(有期)を支給する。
- ・学習支援事業…生活困窮家庭の子どもへの学習支援

目指す成果(方向性)

生活困窮者の自己選択・自己決定を基本に、経済的自立のみならず、日常生活自立や社会生活自立など本人の状況に応じて自立を支援する。

生活困窮者の早期把握や見守りのための地域ネットワークを構築し、包括的な支援策を用意するとともに、働く場や参加する場を広げていく。

成果を計る主な指標	生活困窮者自立支援制度に関する支援件数		
計画策定時の現状		計画策定時の目標	
令和5年度の実績	令和8年度(中間)	令和10年度(最終)	
新規相談受付件数 プラン作成件数	196件 63件	新規相談受付件数 プラン作成件数	200件 70件
新規相談受付件数 プラン作成件数			

令和6年度の実績

第4次 佐渡市地域福祉計画 佐渡市地域福祉活動計画 進行管理・評価シート(実施主体用) 【令和6年度】

No. 16

基本方針	2 健やかな暮らしを支えるまちづくり		
活動方針	(2) 相談支援、情報提供体制の充実		
主な取組	(3) 医療・介護・福祉の提供体制の確保、充実		
事業名	医療・介護・福祉の連携体制の強化		
担当(課・係)	高齢福祉課	新規or継続	新規

— 計画・実行 —

事業概要(取組内容)

医療機関及び介護・福祉施設等が相互に連携し、市民が将来に渡って住み慣れた環境で安心した生活を送ることができるよう、一体的な医療及び介護・福祉サービスの提供が行える体制を構築するために、各施設間の相互連携、患者・利用者情報の共有、人材育成及び人材確保に関する事業を行い、佐渡島内の医療・介護・福祉体制の充実を図る。

目指す成果(方向性)

地域医療連携ネットワークシステム「さどひまわりネット」を継続して展開していくとともに、資源管理・人材養成・広報の3つの柱を重点とした従事者確保、及び持続可能な社会保障体制の構築を目指す。

成果を計る主な指標	さどひまわりネットの新規登録者数、新規登録事業所数	
計画策定時の現状	計画策定時の目標	
令和5年度の実績	令和8年度(中間)	令和10年度(最終)
<ul style="list-style-type: none"> 新規登録者数 276人 新規登録事業所数 1施設 	<ul style="list-style-type: none"> 登録者数 1,500人 登録事業所数 6施設 	<ul style="list-style-type: none"> 登録者数 2,500人 登録事業所数 10施設
令和6年度の実績		

第4次 佐渡市地域福祉計画 佐渡市地域福祉活動計画 進行管理・評価シート(実施主体用) 【令和6年度】

No. 17

基本方針	2 健やかな暮らしを支えるまちづくり		
活動方針	(2) 相談支援、情報提供体制の充実		
主な取組	(3) 医療・介護・福祉の提供体制の確保、充実		
事業名	医療・介護・福祉の人材育成及び確保		
担当(課・係)	高齢福祉課/健康医療対策課/社会福祉課/子ども若者課	新規or継続	新規

— 計画・実行 —

事業概要(取組内容)

人材の育成及び確保並びに介護・福祉の向上に寄与することを目的として、その資格取得及び就業支援のための費用に対し、補助金を交付するもの。市内の医療・福祉施設における専門職の人材不足が顕著でありその問題を解消し、市民の方へ安心して医療・介護・福祉サービスを利用してもらえるように支援を行う。

定着支援:医療・福祉等の施設で従事する者へ民間賃貸住宅の家賃の助成を行う。

資格取得支援:資格取得の際にかかった受講料の助成を行う。

就業支援:新たに市内の介護施設等で従事する者へ就業支度金の助成を行う。市外在住の者で市内の施設等で就業する意思があり、面接や施設見学を行った場合、かかった旅費に対して補助金を交付する。

資質向上:市内の児童福祉施設又は障害福祉サービス事業所において、研修会を開催した場合の講師旅費、講師謝礼及び会場費に対しての補助金を事業所に交付する。また、資格取得に係る受講料及び旅費に対しての助成を行う。

目指す成果(方向性)

医療現場や福祉施設などに携わる方が資格を取得する際には、自身のスキルアップに繋げていただき、これから新しく医療・福祉等に携わる方には研修などに参加し、知識をつけることに補助金を役立てていただきたい。家賃の助成を行い、働きながら住み続けていただくための支援をし、人材を定着させることで福祉サービスの充実を図る。

成果を計る主な指標	資格取得支援・就業支度金・定着支援・資質向上の件数	
計画策定時の現状	計画策定時の目標	
令和5年度の実績	令和8年度(中間)	令和10年度(最終)
資格取得支援:15件 就業支度金:31件 定着支援:37件 資質向上(社福・子若のみ):3件	資格取得支援:20件 就業支度金:79件 定着支援:62件 資質向上(社福・子若のみ):7件 ※1年間ではなく、累計の人数	資格取得支援:39件 就業支度金:140件 定着支援:91件 資質向上(社福・子若のみ):11件 ※1年間ではなく、累計の人数
令和6年度の実績		

第4次 佐渡市地域福祉計画 佐渡市地域福祉活動計画 進行管理・評価シート(実施主体用) 【令和6年度】

No. 18

基本方針	2 健やかな暮らしを支えるまちづくり		
活動方針	(3) 健康・生きがいづくりの推進		
主な取組	①健康づくりと介護予防の推進		
事業名	保健事業と介護予防事業の一体的実施		
担当(課・係)	市民課/健康医療対策課/高齢福祉課	新規or継続	新規

— 計画・実行 —

事業概要(取組内容)

後期高齢者的心身の状況には、身体的脆弱性や複数の慢性疾患に加え、認知機能や社会的つながりの低下といった多面的課題を抱えるフレイル状態にある場合も多い。

後期高齢者の自立した生活を実現し、健康寿命の延伸を図るために、生活習慣病等の重症化を予防する取組みと生活機能の低下を予防する取組みの双方を一体的に実施していく。

1. 生活習慣病等の重症化を予防する取組み(ハイリスクアプローチ)

①栄養改善事業、②生活習慣病重症化予防事業、③健康状態不明者の実態把握事業

2. 生活機能の低下を予防する取組み(ポピュレーションアプローチ)

④フレイル予防普及啓発事業、⑤フレイル相談事業

目指す成果(方向性)

後期高齢者の自立した生活を実現し、健康寿命の延伸を目指す

成果を計る主な指標

※上記事業番号参照。①栄養指導完了率、②継続支援率、③支援実施率
④参加者数、⑤相談者実人数

計画策定時の現状

計画策定時の目標

令和5年度の実績

令和8年度(中間)

令和10年度(最終)

① 栄養指導完了率	91.0%
② 継続支援率	90.6%
③ 支援実施率	49.5%
④ 参加者数	2,025人
⑤ 相談者実人数	537人

① 栄養指導完了率	92.5%
② 継続支援率	92.0%
③ 支援実施率	前年比増加
④ 参加者数	2,100人
⑤ 相談者実人数	680人

① 栄養指導完了率	93.5%
② 継続支援率	93.0%
③ 支援実施率	前年比増加
④ 参加者数	2,100人
⑤ 相談者実人数	700人

令和6年度の実績

**第4次 佐渡市地域福祉計画 佐渡市地域福祉活動計画
進行管理・評価シート(実施主体用) 【令和6年度】**

No. 19

基本方針	2 健やかな暮らしを支えるまちづくり		
活動方針	(3) 健康・生きがいづくりの推進		
主な取組	②生きがいづくりと交流の促進		
事業名	高齢者学級の推進		
担当(課・係)	社会教育課	新規or継続	新規

— 計画・実行 —

事業概要(取組内容)

高齢者に学習の機会を提供し、趣味や健康など様々なことに関心を持っていただくため、高齢者学級を開催する。

目指す成果(方向性)

高齢者の意欲的な社会参加や生きがいづくりの機運の醸成を図る。

成果を計る主な指標

高齢者学級の開催

計画策定時の現状

計画策定時の目標

令和5年度の実績

令和8年度(中間)

令和10年度(最終)

受講者(延べ人数):1,859人

受講者(延べ人数):1,900人

受講者(延べ人数):1,900人

令和6年度の実績

第4次 佐渡市地域福祉計画 佐渡市地域福祉活動計画 進行管理・評価シート(実施主体用) 【令和6年度】

No. 20

基本方針	3 安全安心で住みやすいまちづくり		
活動方針	(1) 地域の防災・防犯体制づくり		
主な取組	①防災意識の醸成と災害時の連携強化		
事業名	地区防災計画作成支援事業		
担当(課・係)	防災課	新規or継続	新規

— 計画・実行 —

事業概要(取組内容)

地域での支え合い・助け合いの体制づくりに取り組むため、自助・共助に向けた自主防災組織、関係機関との連携強化が不可欠です。

また、避難行動要支援者への支援体制の充実や防災意識の向上を図るために、各地区ごとの地区防災計画の作成が求められています。

当市では、地区防災計画の策定率が低く、地域の実情に応じた体制が進んでいません。大災害になれば公助による支援は低くなることから自助・共助の支援が求められます。

そのため、令和8~10年度末までに全地区の地区防災計画作成の完成を目指し、その後も防災訓練等を奨励して自主防災組織の防災意識の向上を図ります。

目指す成果(方向性)

地区防災計画作成推進に向けて、市内の全自主防災組織を対象に防災課、支所・行政サービスセンターを中心に行っていきたい。

成果を計る主な指標

地区防災計画作成組織数

計画策定時の現状

令和5年度の実績

地区防災計画作成組織数
39組織

計画策定時の目標

令和8年度(中間)

令和10年度(最終)

地区防災計画作成組織数
260組織

令和6年度の実績

第4次 佐渡市地域福祉計画 佐渡市地域福祉活動計画 進行管理・評価シート(実施主体用) 【令和6年度】

No. 21

基本方針	3 安全安心で住みやすいまちづくり		
活動方針	(1) 地域の防災・防犯体制づくり		
主な取組	(2) 安心して暮らせる地域活動の促進		
事業名	災害ボランティア講座の開催		
担当(課・係)	社会福祉協議会	新規or継続	継続

— 計画・実行 —

事業概要(取組内容)

面積が広く、離島である佐渡では、災害初動が遅れる状況が見込まれるため、地域の助け合いの必要性が大きくなります。災害時の自助・互助の向上を図るとともに、平時からの地域でのつながりを強めることで災害に強い地域づくりを進めます。

佐渡市地域防災計画及び各地区防災計画に基づき、円滑に災害支援が進むよう、災害支援に関連した講座を開催し意識の高揚を図るとともに、小地域で対応方法を考える機会を設け、平時から取り組めるよう働きかけます。

目指す成果(方向性)

防災について考える機会を設け、災害ボランティアの理解を深め意識の向上を図るとともに、平時から地域のつながりと災害時の助け合いがと相互に作用する地域力向上を図ります。

成果を計る主な指標

災害ボランティア講座の実施

計画策定時の現状

計画策定時の目標

令和5年度の実績

令和8年度(中間)

令和10年度(最終)

災害ボランティア講座の開催

開催回数 1回、参加者数 15名

災害ボランティア講座の開催

開催回数 1回、参加者数 30名

災害ボランティア講座の開催

開催回数 1回、参加者数 30名

ふくボラ出前塾での災害講座の開催 (再掲)

開催回数 8回、参加人数 136名

ふくボラ出前塾での災害講座の開催 (再掲)

開催回数 10回、参加人数 200名

ふくボラ出前塾での災害講座の開催 (再掲)

開催回数 12回、参加人数 300名

令和6年度の実績

第4次 佐渡市地域福祉計画 佐渡市地域福祉活動計画 進行管理・評価シート(実施主体用) 【令和6年度】

No. 22

基本方針	3 安全安心で住みやすいまちづくり		
活動方針	(2) 暮らしやすい生活環境づくり		
主な取組	①暮らしやすい基盤整備の充実		
事業名	交通対策事業		
担当(課・係)	交通政策課	新規or継続	継続

— 計画・実行 —

事業概要(取組内容)

運転手不足により5年後、10年後に路線バスの運行減少が見込まれる7地域を重点地域と位置づけ、スクールバスやホテル旅館の送迎バス、個人の自家用車などあらゆる交通資源を活用し、地域の需要に応じた新たな公共交通体系の構築に取り組み地域内交通を確保する。

目指す成果(方向性)

- ・地域交通確保重点地域(7地区)の運行計画

成果を計る主な指標

重点地域における地域内交通の確保

計画策定時の現状

計画策定時の目標

令和5年度の実績

令和8年度(中間)

令和10年度(最終)

0

3地区

7地区

令和6年度の実績

第4次 佐渡市地域福祉計画 佐渡市地域福祉活動計画 進行管理・評価シート(実施主体用) 【令和6年度】

No. 23

基本方針	3 安全安心で住みやすいまちづくり		
活動方針	(2) 暮らしやすい生活環境づくり		
主な取組	②生活交通の確保と生活支援の充実		
事業名	生活支援体制整備事業		
担当(課・係)	高齢福祉課	新規or継続	継続

— 計画・実行 —

事業概要(取組内容)

単身や高齢者のみ世帯、認知症の高齢者が増加する中、多様な日常生活上の支援体制の充実・強化及び高齢者の社会参加の促進を目的に、「生活支援コーディネーター(地域支え合い推進員)」の配置と協議体の設置を行った。(再掲)

平成30年度より生活支援等サービスの体制整備に向けて、定期的な情報の共有・連携強化の場として協議体を開催し、新たな資源の開発や利用しやすいサービスの検討、多様なサービス主体同士のネットワークの構築を図っている。

協議体は、第1層1箇所、第2層各圏域ごとに1箇所ずつ計4箇所設置した。第1層は佐渡市全域の課題解決に向け検討し、第2層は、関係機関、住民ボランティア等と住民主体の支え合い助け合い活動の創出、啓発について検討している。

目指す成果(方向性)

不足しているサービス事業を、協議体と共に推進していく

成果を計る主な指標

サービス事業等の開発・推進、支え合い地域活動

計画策定時の現状

計画策定時の目標

令和5年度の実績

令和8年度(中間)

令和10年度(最終)

・サービス事業等の開発・推進 4事業

・サービス事業等の開発・推進 12事業

・サービス事業等の開発・推進 20事業

・支え合い地域活動 6地区

・支え合い地域活動 24地区

・支え合い地域活動 40地区

令和6年度の実績

第4次 佐渡市地域福祉計画 佐渡市地域福祉活動計画 進行管理・評価シート(実施主体用) 【令和6年度】

No. 24

基本方針	3 安全安心で住みやすいまちづくり		
活動方針	(3) 権利を守る環境づくり・成年後見制度の推進		
主な取組	①権利擁護の推進		
事業名	日常生活自立支援事業の推進		
担当(課・係)	社会福祉協議会	新規or継続	新規

— 計画・実行 —

事業概要(取組内容)

利用者との契約に基づき、認知症や知的障がい、精神障がい等により日常生活を営むのに支障がある方に対して、福祉サービスの利用に関する相談に応じ、及び助言を行い、並びに福祉サービスの提供を受けるために必要な手続又は福祉サービスの利用に要する費用の支払いに関する便宜を供与することその他の福祉サービスの適切な利用のための一連の援助を一体的に行う。

目指す成果(方向性)

認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者など判断能力が不十分な方が、地域で自立し、安心して生活が送れるように、福祉サービスの利用支援を中心に、日常的な金銭管理、書類等の預かり保管などの支援を通して、高齢者や障がい者等の権利擁護を図る。

成果を計る主な指標	日常生活自立支援事業利用者数の推移		
計画策定時の現状		計画策定時の目標	
令和5年度の実績		令和8年度(中間)	令和10年度(最終)
実利用者数 47人 生活支援員数 31人	実利用者数 50人 生活支援員数 35人	実利用者数 50人 生活支援員数 35人	
令和6年度の実績			

第4次 佐渡市地域福祉計画 佐渡市地域福祉活動計画 進行管理・評価シート(実施主体用) 【令和6年度】

No. 25

基本方針	3 安全安心で住みやすいまちづくり		
活動方針	(3) 権利を守る環境づくり・成年後見制度の推進		
主な取組	①権利擁護の推進		
事業名	地域包括支援センターの運営		
担当(課・係)	高齢福祉課	新規or継続	継続

— 計画・実行 —

事業概要(取組内容)

地域での暮らしを支えるため高齢者等の総合相談窓口として、4つの地域包括支援センターを設置し、運営している。

それぞれ保健師・社会福祉士・主任介護支援専門員を配置して、相談支援業務、権利擁護業務、介護支援専門員への支援、要支援者の自立支援に向けた介護予防ケアマネジメント等を実施している。

各圏域で地域ケア会議を開催し、地域課題に向けた協議や検討を実施している。

目指す成果(方向性)

住み慣れた地域で生涯暮らすことが出来るために、安心して相談できる機関が身近にある体制を整備する。

成果を計る主な指標	地域包括支援センターの設置数、地域包括支援センターに関わる社協以外の法人数	
計画策定時の現状	計画策定時の目標	

令和5年度の実績	令和8年度(中間)	令和10年度(最終)
地域包括支援センター設置数 4 社協以外の法人数 1	地域包括支援センター設置数 4 社協以外の法人数 2	地域包括支援センター設置数 4 社協以外の法人数 2

令和6年度の実績

第4次 佐渡市地域福祉計画 佐渡市地域福祉活動計画 進行管理・評価シート(実施主体用) 【令和6年度】

No. 26

基本方針	3 安全安心で住みやすいまちづくり		
活動方針	(3) 権利を守る環境づくり・成年後見制度の推進		
主な取組	②成年後見制度の利用促進と支援体制の確保		
事業名	市民後見推進事業		
担当(課・係)	社会福祉課/社会福祉協議会	新規or継続	継続

— 計画・実行 —

事業概要(取組内容)

平成25年度より社会福祉協議会(成年後見センター)に委託し実施している。市民後見人養成講座を実施し成年後見制度の担い手の養成を行うとともに、修了者を対象としたフォローアップ研修の実施により知識を習得できる機会をつくるほか、家庭裁判所より審判を受けた市民後見人への活動支援として、成年後見センター職員による相談や弁護士、司法書士等による専門職相談の対応をしている。市民後見人が安心して、あたたかな後見活動ができるよう関係機関と連携し、支援体制の充実を図る。

目指す成果(方向性)

成年後見人等のなり手不足の解消および成年後見制度の理解を広めるとともに、認知症などにより判断能力が不十分な方が成年後見制度を利用しながら住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるような仕組みを構築する。

成果を計る主な指標	市民後見人養成講座受講者数及び名簿登録者数		
計画策定時の現状	計画策定時の目標		
令和5年度の実績	令和8年度(中間)	令和10年度(最終)	
養成講座受講者 15名 新規名簿登録者 15名	養成講座受講者 15名 新規名簿登録者 15名	養成講座受講者 12名 新規名簿登録者 12名	
令和6年度の実績			

第4次 佐渡市地域福祉計画 佐渡市地域福祉活動計画 進行管理・評価シート(実施主体用) 【令和6年度】

No. 27

基本方針	3 安全安心で住みやすいまちづくり		
活動方針	(3) 権利を守る環境づくり・成年後見制度の推進		
主な取組	②成年後見制度の利用促進と支援体制の確保		
事業名	成年後見センターの機能充実		
担当(課・係)	社会福祉課/社会福祉協議会	新規or継続	継続

— 計画・実行 —

事業概要(取組内容)

佐渡市成年後見推進事業

(普及啓発等)

・成年後見制度に関する広報及び啓発・成年後見制度に関わる関係機関とのネットワークづくり・後見人の育成・成年後見制度に関する相談及び利用の支援

(法人後見支援)

・法人後見実施のための研修・法人後見の活動を安定的に実施するための組織体制の構築

・法人後見の適正な活動のための支援・法人後見を行う事業所の立ち上げ支援等法人後見の活動の推進に関する事業

・法人後見に要する運営体制、財源確保、障がい者等の権利擁護、後見監督人との連携手法等、市民後見人の活用も含めた法人後見業務を適正に行うために必要な知識、技能及び倫理が修得できる内容の研修カリキュラムの作成等

(市民後見)

・市民後見人養成のための研修の実施・市民後見人の活動を安定的に実施するための組織体制の構築・市民後見人の適正な活動のための支援(中核機関)

・成年後見制度に関する広報、相談対応、制度利用促進及び後見人支援それぞれの機能を強化していく上で中核的役割を果たし、様々なケースに対応できる法律・福祉などの専門知識や、地域の専門職や幅広い関係者との信頼関係を維持発展させ円滑に協力を得るノウハウ等を蓄積しつつ、地域における連携・対応強化を継続的に推進していく

目指す成果(方向性)

権利擁護を必要とする方が本人の意思や権利が尊重され地域で自分らしい生活を送ることができるよう、成年後見制度による支援を適切に提供できる仕組みを構築する。

成果を計る主な指標

セミナー開催状況、成年後見に関する相談件数、受任調整会議開催状況

計画策定時の現状

計画策定時の目標

令和5年度の実績

令和8年度(中間)

令和10年度(最終)

成年後見セミナー 1回

法人後見推進セミナー 1回

成年後見に関する相談 7,056件

受任調整会議の開催 5回

成年後見セミナー 1回

法人後見推進セミナー 1回

成年後見に関する相談 7,400件

受任調整会議の開催 9回

成年後見セミナー 1回

法人後見推進セミナー 1回

成年後見に関する相談 7,800件

受任調整会議の開催 12回

令和6年度の実績

— 自己評価 —

◆ 各年度末までの進捗状況評価

評価(実施主体)	評価に対する説明

進捗状況 評価の基準	5	目標どおり進行している。(目標に対し90%以上を達成)
	4	目標に向かって順調に進行している。(目標に対し70%以上90%未満を達成)
	3	やや取組が遅れている。(目標に対し50%以上70%未満を達成)
	2	大幅に取組が遅れている。(目標に対し50%未満)
	1	取組ができなかった。

— 見直し・改善 —

事業課題

(事業課題に関する記述)

今後の方針・取組

(今後の方針・取組に関する記述)